

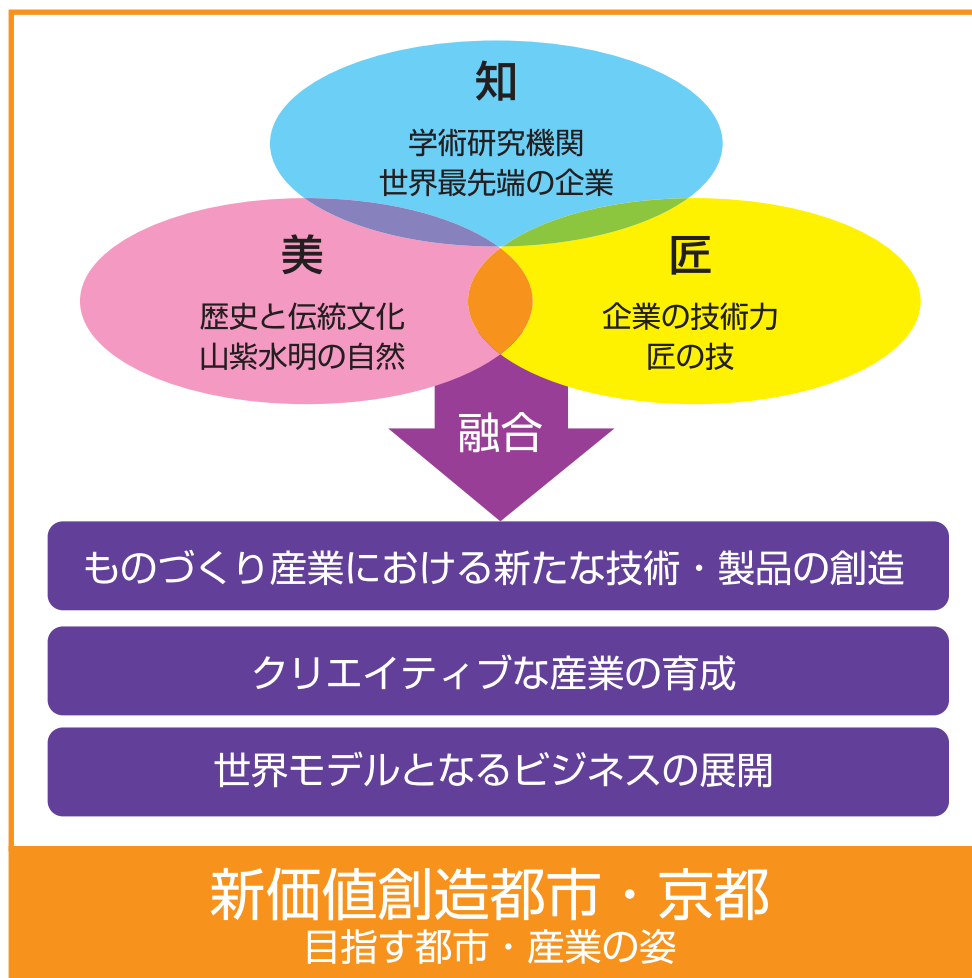
第5 目指す都市・産業の姿(理念)

京都市は、伝統産業から最新技術をリードする先端産業までの幅広い業種に、大企業から中小企業までの様々な規模の企業が立地する重層的な産業構造を持ち、それぞれの企業が相互に刺激を与え、関連しながら発展する産業連関都市を形成している。

そのような中、早急な取組が求められる環境問題をはじめとする多くの課題の出現、成長を続ける世界市場への展開の重要性など、本市を取り巻く社会・経済環境は大きく変化している。

このビジョンは、本市のもつ産業連関都市としての特性を踏まえつつ、近年の社会・経済環境の変化に対応するため、1200年の悠久の歴史と伝統文化、豊かな自然の中で形成された京都ならではの「美」「知」「匠」といった強みを生かして、ものづくり産業における新たな技術・製品の創造やクリエイティブな産業の育成など様々な分野で新しい価値を生み出し、世界のモデルとなるビジネスが展開される『新価値創造都市・京都』を目指すものである。

こうした都市の実現により、産業の競争力を高め、新たな市場を開拓し、市民の多様な雇用の機会を生み出すとともに、製品の開発や技術革新によって市民生活の質と利便性を向上させ、更には、活発な産業活動による税収の確保を通じて、教育、医療、福祉等の市民サービスの向上を図るなど、市民がやりがいをもって安心して働ける豊かな生活と社会を支える経済基盤を確立する。



市民の豊かな生活と社会を実現